

SLAS/CLASとAIを融合した道路付属物の自動点検システムの実証事業

株式会社イクシス

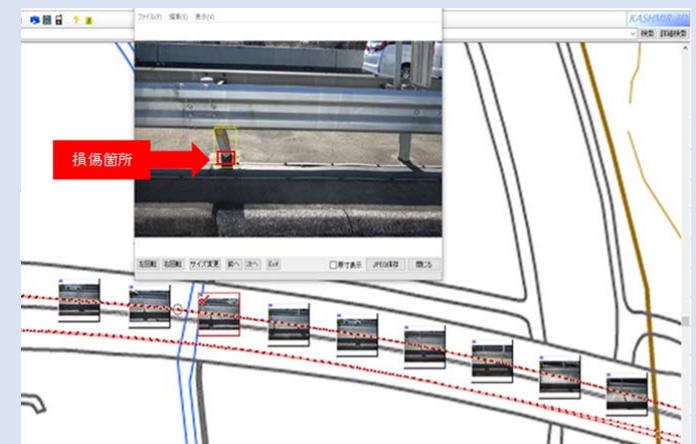
- 道路付属物全般の補修や交換が必要な箇所を画像からAI解析で自動検出し、「みちびき」から取得した絶対位置で管理することで、メンテナンス作業の効率化と安全性の向上をはかる。
- 高速道路の走行動画からガードレールの腐食や損傷をAI解析で自動検出し、「みちびき」のSLAS/CLAS対応受信機から得た位置情報と同期させ、腐食や損傷の絶対位置を取得する。
- CLAS情報から高精度の絶対位置を取得し、自動検出した腐食や損傷個所との紐づけができた。
- メンテナンスへの適用で損傷箇所を精確・迅速に特定し作業の効率化が期待できる。道路付属物の更新判断、ひいては国土強靱化に繋がるリスクマネジメントも精確・迅速に実施可能となる。



SLAS/CLAS受信機と走行動画用カメラを搭載した車両



SLAS/CLASでのトレース結果



検出結果と位置情報の紐づけ結果

*ビューワはKASHMIR 3Dを利用